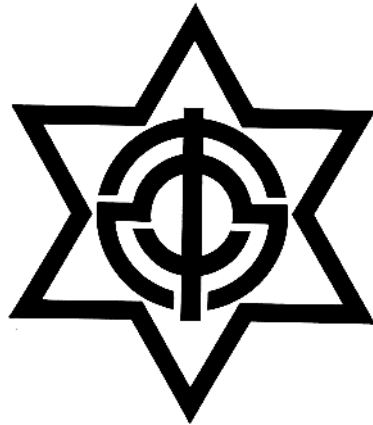


平成27年度

学校運営に関する計画



大阪市立中本小学校

## 1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

校区は古くから続く地域で、学校に対して親しみを持っておられる方が多く、本校の教育活動に対して協力的である。その中で、生活面で課題を持つ児童や発達障害と考えられる児童が各学年に在籍し、緊急の転出入もあり、児童の生活・学力実態は多様であり、個別対応が必要な児童も多数在籍する。その個別対応が必要な子どもたちのために、地域の主任児童委員が中心となって、通所指導を立ち上げてくださった。その活動の中で、不登校気味の子どもが登校しはじめたケースがでてきた。今後、その取り組みに学校も施設の利用等で協力していきたい。

本年度から少人数での2学級がすべて単学級になり、児童集団が固定化される。よりよい集団作りのため、お互いを認め合い、正しい判断力を身につけていく教育内容がより必要になり、その中で児童の自尊感情を高め、基礎学力の定着を図る取り組みを進めなくてはならない。

## 学力の向上

学力調査問題の全てで大阪市の平均を上回っていたが、国語Aだけ全国平均を下回っていた。また、国語Aは平均無答率も下回り、国語の基礎学力が定着していない状況があることを示している。反対にB問題では全国と比較して大きく上回り、昨年度とは逆の傾向が見られ、得点分布から正答率の高い児童が多く、学力差が大きい状況である。算数はA、Bとも全国平均を上回り、昨年度と同様の状況である。平均無答率も全国の平均の半分以下であり、A、B問題の得点分布では正答率が50%以下の児童が少ない状況で、算数では基礎的な学力が定着できている。今後も少人数習熟度別学習を計画的に進めていくことで学力差の大きい現状を改善していきたい。

学力向上の取り組みとして、国語科、算数科で習熟度別少人数学習を実施し、学習する単元のみあてや目的に応じて学習を進めている。算数科では習熟度別学習や放課後指導等で個別指導に力を入れた成果が出て、基礎学力の定着が図られた。国語科では昨年度と異なる傾向で話すこと聞くことについてよく理解できるようになり、B問題も全国平均よりもよく理解できていた。しかし、Aの読むことが全国平均よりもポイントが下回り、無答率も平均よりも高かった。これは基礎的な理解が不十分な状況があることを示し、国語科においても個別指導に力を入れなくてはならない。

また、「一人一人を大切に、認め合い高め合う子どもを育てる」を研究主題に設定し、指導案検討会や討議会で、個に応じた指導のあり方、効果的な学習指導方法について授業研究を中心に、研究を進めている。指導力の向上のため授業研究の教科は固定せず、あらゆる教科の中での言語活動を取り上げ、「な・か・も・と」の学習スタイルづくりをめざしている。この学習スタイルづくりは、児童が自らの見通しを持って学習に取り組む態度を育成するためのものであり、子どもの自己決定力を育み、自学自習の力をつけることにも役立つと考える。

## 道徳心・社会性の育成

今までの道徳の研究成果を生かし、本校独自の道徳の全体計画を作成し、教職員全体で共通理解のもと計画的に取り組んできた。また、縦割りグループで集会活動を週一回行ったり、体育学習をグループ学習中心に進めたりしてきているので、児童の社会性が育ち、各学年は落ち着いた状況で学習に取り組んでいる。本年度は昨年度まで取り組んできた道徳の授業公開を全校一斉で実施する予定である。

生活指導面では月1回の生活指導連絡会の中で児童・生徒の状況についての情報を把握し、保護者との連携も密に行っているため、問題行動にすばやく対応できているが、不登校児童は在籍している。昨年度、地域児童員の方の協力のおかげで不登校児童が登校できるようになってきた。今後も関係諸機関と連携しながら、個別の課題解決に取り組んでいきたい。

## 健康・体力の保持増進

男子は体力合計点が全国や大阪市の平均を上回り、ほとんどの種目で全国や大阪市の平均を大きく下回る種目はなかった。女子は体力合計点が全国や大阪市の平均を下回り、3種目が全国平均よりも1ポイントほど上回っていた。女子は運動量の個人差が大きく、それが下回る原因と考えられる。

健康・体力の保持増進の取り組みとして、学期ごとに運動週間を設け、児童が屋外で体を動かす取り組みを進めてきた。また、季節に応じた種目を体育の授業で取り上げ、児童にいろいろな運動への出会いの場を設けてきた。授業においては、一人一人の運動量の増加を意識した授業を行っている。

今後は、これまでの活動を継続するとともに体力増進や柔軟性を促進する運動を授業の導入に組み込むなどして、児童の運動基礎能力の向上を図っていくとともに、運動量の少ない児童に体を動かす喜びを感じることのできるゲーム等を体験させていきたい。

朝食を毎日食べる児童は、大阪市の平均よりも上回っており、87.2%あった。毎日食べない児童は0%で本校の児童全員が朝食を食べて登校している。また、同じ時刻に寝ていない児童の割合は20.1%、同じ時刻に起きていない児童の割合は5.2%で全国や大阪市の平均よりも下回っている。本校児童の基本的な生活習慣はやや良好な状況といえる。これは本校が進めている保健指導で朝食や睡眠に関する効果はあるものと考えられるが、改善の余地は十分あるので、保護者とともに生活習慣の改善に取り組んでいきたい。

## 中期目標

### 【視点 学力の向上】

○「全国学力・学習状況調査」等の結果を分析し、基礎学力の向上を目指した学習指導計画の作成を進める。同時に教職員の指導力を高め、「わかる、できる、やった」と思える授業づくりを進め、児童一人一人の学力の向上を図る。(マネジメント改革関連)

○学習理解度到達診断における正答率50%以下の児童の割合を平成24年度より全学年で減少させる。(カリキュラム改革関連)

○本校児童対象の学校アンケート調査で「学習がよくわかるようになった」「学校で勉強するのは楽しい」の項目について肯定する回答を90%以上にする。(カリキュラム改革関連)

○平成27年度までの授業アンケート調査で「お子さまは、授業の内容がわかるようになっていきますか」の項目について「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する保護者の割合を平成24年度よりも5%向上させる。(ガバナンス改革関連)

### 【視点 道徳心・社会性の育成】

○児童一人一人の生活実態を正しく把握し、人間尊重の感性を高め、自他を尊重し、協力する児童を育てる。(マネジメント改革関連)

○平成27年度の本校の児童対象アンケート調査において次の項目で「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する割合を90%以上にする。・「あいさつができるようになった」・「友だちのいいところを見つけ、いじめたり悪口をいったりしない」・「学校に行くのは、楽しい」(カリキュラム改革関連)

○平成27年度の本校の保護者対象アンケート調査において次の項目で「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する割合を、平成24年度よりもポイントを増加させる。・「学校は、お互いのよさを認め合い、いじめを見逃さないように指導している」・「学校は、学校のきまりや社会のルールを守るように指導している」・「家庭では、子どもに基本的な生活習慣を身につけさせている」(ガバナンス改革関連)

### 【視点 健康・体力の保持増進】

○「全国体力・運動能力、運動習慣」等の調査結果を分析し、問題点を明らかにし、体育、健康教育の学習

内容を見直すことで取り組みを充実させ、心身とも健全で最後までがんばる児童を育てる。(マネジメント改革関連)

○平成27年度における本校の校内体力調査において、平成25年度の全国体力テストの数値よりも向上させる。(カリキュラム改革関連)

○本校のアンケート調査において次の項目で「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する割合を90%以上にする。児童アンケート・「自分の体や健康について、学ぶことができている」保護者アンケート「学校は生活習慣や食生活に関心を持たせ健康な生活を送れるように指導している」。(カリキュラム改革関連)(ガバナンス改革関連)

## 2 中期目標に向けた年度目標

### 【視点 学力の向上】

○学習理解度到達診断における正答率50%以下の児童の割合を平成26年度より減少させる学年を増やす。(カリキュラム改革関連)

○本校児童対象の学校アンケート調査で「学習がよくわかるようになった」「学校で勉強するのは楽しい」の項目について肯定する回答を平成26年度よりも向上させる。(カリキュラム改革関連)

○授業アンケート調査で「お子さまは、授業の内容がわかるようになっていきますか」の項目について「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する保護者の割合を前年度よりも向上させる。(ガバナンス改革関連)

### 【視点 道徳心・社会性の育成】

○本校の児童対象アンケート調査において次の項目で「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する割合を平成26年度よりも向上させる。・「あいさつができるようになった」・「友だちのいいところを見つけ、いじめたり悪口をいったりしない」・「学校に行くのは、楽しい」(カリキュラム改革関連)

○本校の保護者対象アンケート調査において次の項目で「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する割合を平成26年度よりも向上させる。・「学校は、学校のきまりや社会のルールを守るように指導している」・「家庭では、子どもに基本的な生活習慣を身につけさせている」(ガバナンス改革関連)

○本校の保護者・児童アンケート調査において「学校は、お互いのよさを認め合い、いじめを見逃さないように指導している」「友だちのいいところをみつけ、いじめたり悪口をいったりしない」の2項目について「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する割合を平成26年度よりも向上させる。(マネジメント改革関連)

### 【視点 健康・体力の保持増進】

○本年度の本校の校内体力調査において平成25年度の全国体力テストの数値よりも1つの項目以上で向上させる。(カリキュラム改革関連)

○本校のアンケート調査において次の項目で「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する割合を、平成26年度の数値を維持する。児童アンケート「自分の体や健康について、学ぶことができている」保護者アンケート「学校は生活習慣や食生活に関心を持たせ健康な生活を送れるように指導している」。(カリキュラム改革関連)(ガバナンス改革関連)

## 3 本年度の自己評価結果の総括

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【視点 学校経営】</b></p> <p>児童の願いや実態を正しく把握し、教育内容の充実を図り、自己肯定感を育むことを基盤としながら、児童一人一人が必要としている力をつける。(カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【区分 教育課程の充実】</p> <p>児童の生活・学力実態を正しく理解することから、教育内容を検討し、教育課程の充実を図る。(カリキュラム改革関連)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校経営方針を十分に説明するとともに教職員への理解を図る。</li> <li>○全教職員で「教育課程」や「運営の方針」を作成する。</li> <li>○組織的な検証・改善サイクルを実践し、目標を達成する。</li> </ul>	
<p>取組内容②【区分 学校・家庭・地域との連携の推進】</p> <p>学校の教育目標や教育課程・教育活動についての理解を深め、教育支援活動を活発にする。(ガバナンス改革関連)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○webページや学校だより・学年だよりを通して、学校の教育内容を保護者や地域に発信する。</li> <li>○懇談会等の機会をとらえて教育活動と教育目標との関わり等を明らかにする。</li> </ul>	
<p>取組内容③【区分 学校・家庭・地域との連携の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者が学校に訪れる機会を増やし、教育活動に対する理解を深める。</li> <li>○地域の方に教育活動の内容を発信し、理解を深める。(地域サポート改革関連)</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月1回程度は保護者が学校に訪れる機会を作り、保護者の教育活動への理解度を高める。</li> <li>○保護者に知ってもらえる教育活動の目的や効果を具体的に伝える。</li> <li>○地域の方にも来校していただける活動を検討し、来校の機会を増やす。</li> </ul>	
<p>取組内容④【区分 学校評価の充実】</p> <p>組織的な検証・改善サイクルを実践し、保護者の学校教育に対する満足度を高める。(ガバナンス改革関連)</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○行事のアンケート、年度末の保護者・児童アンケート等を実施し、客観的に事象を捉える。</li> <li>○活動の充実・推進、児童の育成について具体的な方策を挙げ、実践する。</li> </ul>	
<p>取組内容⑤【区分 安全対策】</p> <p>児童の安全性を高め、緊急事態に対応できる教職員組織の充実を図る。(マネジメント改革関連)</p>	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○警察と連携し、職員への防犯実技訓練、防犯避難訓練を実施するとともに、教職員の対応スキルを向上させる。</li> <li>○教職員の危機管理意識を向上させる。</li> <li>○緊急時の校内、地域の巡視体制を確立させる。</li> <li>○保護者アンケートの安全対策に関わる項目の満足度を80%以上にする。</li> </ul>	
<p>取組内容⑥【区分 組織運営】</p> <p>学校運営の効率化を進める。(マネジメント改革関連)</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各校務分掌部での課題を明確にし、組織的な検証・改善サイクルを実践する。</li> <li>○校務支援システムを活用し、運営の効率化を図る。</li> </ul>	
<p>取組内容⑦【区分 教育環境の整備】</p> <p>児童の学校生活の安全を図り、児童・保護者が安心できる教育環境の充実を図る。(マネジメント改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○施設・設備の安全点検を毎月1回、校内・通学路の安全点検を学期に1回実施し、適切な改善・維持・整備を行う。</li> <li>○保護者アンケートの児童の安全に関わる項目の満足度を85%以上にする。</li> </ul>	

<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>
Empty space for analysis

<p>来年度に向けての改善点</p>
Empty space for improvement points

大阪市立 中本小学校 平成 27 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【視点 学力の向上】</b></p> <p>○学習理解度到達診断における正答率 5 割以下の児童の割合を減少させる。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○本校児童対象の学校アンケート調査で「学習がよくわかる」「学校でみんなと勉強するのは楽しい」の項目について肯定する回答を 80%以上にする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○授業アンケート調査で「お子さまは、授業の内容がわかるようになっていきますか」の項目について「そう思う(だいたいそう思う)」と回答する保護者の割合を前年度よりも向上させる。(マネジメント改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【習熟度別少人数指導の充実】</p> <p>習熟度別少人数指導などの学習形態を活用する。また、事例や実践について情報の共有化を図り、指導方法、指導体制を充実させ、学習の効率を高める。 (マネジメント改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>単元テストの平均正答率を 70%以上にする。また、単元ごとに指導方法や指導体制についてふり返り、考察する。</p>	
<p>取組内容②【個に応じた学習指導】</p> <p>個別指導、繰り返し指導を実践することで、基礎的・基本的な学力の定着を図り、意欲的に学習に取り組めるようにする。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>児童アンケートで「学習がよく分かる」と思う児童の割合を 80%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【言語力の育成】</p> <p>思考力・判断力・表現力をつける取り組みとして、自分の思いや考えを表現する授業の充実を図る。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>全教科において、多様な言語活動を取り入れた授業を、全体の 50%以上実施する。</p>	
<p>取組内容④【体験的な学習の充実】</p> <p>体験的な活動を積極的に取り入れ、豊かな感性や情操をはぐくみ、主体的に学習する態度を育てる。 (カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>年間計画を立て、それに基づいて実施、見直しをし、体験的な学習の充実を図る。</p>	

<p>取組内容⑤【特別支援教育】</p> <p>特別支援教育の充実（要配慮、支援児童への支援体制づくり）や校内研修を実施し、児童への理解を深め、指導に役立てる。 <span style="float: right;">（カリキュラム改革関連）</span></p>	
<p>指標</p> <p>状況に応じた支援体制を組み、校内研修を学期に1回以上行い、情報を共有し、支援に役立てる。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	



評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>○すすんであいさつができ、自他の尊重ができる児童を育てる。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○児童が安心安全に過ごせるように、取り組みを充実させて、関心を高める。</p> <p>(カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【規範意識の育成】</p> <p>生活目標を決め、その徹底を図る。特に「あいさつ」については、年間を通して意識を高められるようにする。</p> <p>(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>生活目標を月曜日の朝会指導や学級指導で徹底を図り、児童アンケートで守れたと回答する児童をどの学年も80%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【人権を尊重する教育の推進】</p> <p>人権教育推進体制を確立し、児童の実態に基づいた人権教育を進める。</p> <p>(マネジメント改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>人権教育研修会(区、校内)、実践交流会(区、校内)により、研修を深め、「人権教育教材集・資料」を活用しながら「人権教育年間指導計画」を作成し、児童の人権意識を高める取り組みを実施する。</p>	
<p>取組内容③【いじめ不登校への対応】</p> <p>校内及び関係諸機関との情報交流の活性化を図り、課題のある児童の学校生活について対策を立てる。</p> <p>(マネジメント改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>生活目標を月曜日の朝会指導や学級指導で徹底を図り、児童アンケートで守れたと回答する児童をどの学年も80%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【安全教育】</p> <p>自分自身を大切にできる心情を育てるとともに他者の安全を考える心情を育てる。</p> <p>(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>日常生活の中での身のまわりの危険性について児童自ら考え、それに対して適切な対応ができる。</p>	
<p>取組内容⑤【防災教育の推進】</p> <p>「警備及び防災の教育」「安全対策マニュアル」に基づき、災害時に備えた訓練を実施する。</p> <p>(カリキュラム改革関連)</p>	

指標

生活目標を月曜日の朝会指導や学級指導で徹底を図り、児童アンケートで守れたと回答する児童をどの学年も80%以上にする。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>○平成27年度の新体力テストにおいて、本校前年度の各学年の合計得点を維持し、平成25年度の全国平均より1項目以上向上できるようにする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>○平成27年度の校内アンケートにおける「自分の体や健康について学ぶことができている」の項目について、「よくあてはまる(だいたいあてはまる)」と答える児童の割合の水準を90%以上で維持する。(カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【健康な生活習慣の確立】</p> <p>自己の健康や体力について正しい知識を身につけ、日々の生活を振り返りながら、生活習慣を改善するための活動を実施する。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>保健だより(毎月発行)、保健指導の活用や保健学習を効果的に行い、学年に応じた学級指導を継続的に取り組みながら、学期に一度の健康アンケートの実施により、自己の生活習慣を振り返る。</p>	
<p>取組内容②【体育的活動の充実】</p> <p>児童が楽しみながら、自己の体力に目を向け運動できる取り組みを実施する。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>運動週間(学期に1回)や「外であそぶデー」、なわとび週間、マラソンタイム、外遊びの呼びかけなどを定期的に実施し、児童の運動機会を多くする。</p>	
<p>取組内容③【体力向上への支援】</p> <p>体力向上アクションプランに基づき、児童の体力向上を図る。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>体力テストの結果を生かし、本校独自のめあてカード「なかもと☆キッズ」を活用しながら児童一人一人が目標を設定し、意欲的に運動に取り組み、体力向上につなげる。</p>	
<p>取組内容④【食育】</p> <p>自己の健康に目を向け、各種の食育指導を通して食への意識が高まるよう取り組む。(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標</p> <p>自己の健康への意識が高まるような取り組みとして、「食器ピカピカウィーク」を学期に一度設定し、栄養指導や各学級における給食指導、家庭科の学習を通して自己の食生活を振り返る。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【視点 研修】 授業研究や研修会を通して、指導力の向上に取り組む。(マネジメント改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【研修の充実】 スキルアップのための研修を設定し、教育活動の充実を図る。(マネジメント改革関連)	
指標 教職員のアンケートやニーズに基づき、実技研修会、情報交換会を実施したり、外国語活動に関する研修を充実させたりして、指導力の向上を図る。	
取組内容②【授業研究を伴う校内研修の充実】 研究授業や公開授業を実施し、指導力の向上に取り組む。(マネジメント改革関連)	
指標 本年度の研修計画に基づき、研究授業、公開授業を実施する。 指導案検討会、討議会の方法を工夫し、充実を図る。	
取組内容③【人権研修の充実】 人権教育(在日外国人教育・障がいのある人の人権を尊重する教育等)の研修を深める。(マネジメント改革関連)	
指標 区だけでなく、校内でも人権研修会、実践交流会を実施し、人権教育における研修を深める。 外国人教育部会において、実践報告、情報交換を行い、研修をすすめる。 支援者会議や各会の情報交換により、児童理解を深め、日々の実践を見直すなかで、障がいのある人の人権を尊重する教育の研修をすすめる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【視点 仲間作り】 だれとでも仲よく協力し合って活動する。(カリキュラム改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【学級指導】 学級・学年での様々な活動を通して、集団意識を高め、仲間作りにつなげていく。 (カリキュラム改革関連)	
指標 各学年の発達段階や日々の児童の実態に応じて、活動を充実させる。	
取組内容②【児童会活動】 年間計画に基づき、幼稚園や異学年、学校全体としての交流を深め、定着させる。 (カリキュラム改革関連)	
指標 学年末の児童アンケートにおける「幼稚園や異学年と交流できた。」と答える児童を80%以上にする。	
取組内容③【児童会活動】 児童集会や児童会行事を充実させ、協力して活動する態度を養う。 (カリキュラム改革関連)	
指標 行事後の児童アンケートで「協力できた。」と答える児童を80%以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 幼稚園・中学校との連携】</p> <p>幼稚園・保育所・小学校・中学校の連携を促進し、小学校、中学校への円滑な接続を図り、学力の向上につなげる。(マネジメント関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【幼小一貫した教育の推進】</p> <p>年間指導計画を作成し、幼稚園・保育所・小学校が連携した教育活動を実施する。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>指標</p> <p>年間計画に基づき、幼稚園・保育所と交流する機会を持つ。</p>	
<p>取組内容②【研修の充実】</p> <p>幼稚園・小学校の教職員の合同研修を実施する。(マネジメント改革関連)</p> <p>指標</p> <p>防犯実技研修等、幼小合同研修会を実施したり、相互の学習参観をしたりする機会を持つ。</p>	
<p>取組内容③【小中一貫した教育の推進】</p> <p>「小中連携アクションプラン」を作成し、出前授業、相互の学習参観等の機会をもち、中一ギャップ解消の取り組みを進める。 (マネジメント改革関連)</p> <p>指標</p> <p>「小中連携アクションプラン」に基づき、教職員の交流、連携の充実を図る。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	